

学校関係者評価報告書

学校法人 麻生塾
(A S Oポップカルチャー専門学校)

目 次

I. 学校関係者評価の概要と実施状況	- 3 -
1. 学校関係者評価の目的と基本方針	- 3 -
2. 学校関係者評価委員名簿.....	- 3 -
3. 学校関係者評価委員会の実施状況	- 4 -
4. 学校関係者評価委員会の実施方法	- 4 -
5. 学校関係者評価（自己評価結果）の評価の仕方	- 4 -
II. 学校関係者評価委員会報告.....	- 5 -
1. 重点項目について	- 5 -
2. 基準項目について	- 5 -

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的と基本方針

1) 目的

①卒業生、関係業界、職能団体・専門分野の関係団体、高等学校、保護者・地域住民などの学校関係者が、ASOポップカルチャー専門学校の自己点検・評価結果を評価することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。

②学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。

2) 基本方針

学校関係者評価は、自己点検・評価報告書を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

2. 学校関係者評価委員出席者名簿

区分	氏名	所属(役職)	出欠
企業	足立 憲一	株式会社ワコム (クリエイティブセールスジャパンエンタープライズセールス)	出席
企業	岩根 誠一	株式会社マトリックス (福岡開発室 技術開発課 課長)	出席
企業	河原 洋	株式会社 studio A-CAT (福岡支社 支部長)	出席
業界関係者	久保 陽太	漫画家	出席
高等学校	大山 明	久留米市外三市町高等学校組合立三井中央高等学校 (学校長)	出席
地域住民	浦川 美代子	博多駅南1丁目1区自治会 (会長)	欠席
卒業生	大輪 健太郎	マンガ・イラスト・CG科 CGコース 卒業生	出席
保護者	松土 宏	マンガ・イラスト・CG科 イラストコース保護者	出席
企業	小林 浩康	株式会社プロジェクトスタジオQ(代表取締役社長)	欠席
企業	森 瞭維智	株式会社 FOREST Hunting One(代表取締役)	欠席

※区分別、五十音順、敬称略

3. 学校関係者評価委員会の実施状況

実施日時：2020年9月3日（木）15：30 ～ 16：30

場 所：麻生塾福岡キャンパス 1号館4階146教室

4. 学校関係者評価委員会の実施方法

学校関係者委員の皆さまに、2019年度の実績に対する自己点検評価の結果を学校から報告し、評価結果に対する意見をいただく。

5. 学校関係者評価（自己評価結果）の評価の仕方

2019年度の自己点検・評価報告書に基づき、基準項目の自己評価結果および課題・解決方向について、下記のポイントに留意しながら評価を行った。

- (1) 自己評価結果の内容が適切かどうか
- (2) 今後の解決方向が適切かどうか
- (3) 学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- (4) その他、学校の運営に関する助言

Ⅱ. 学校関係者評価委員会報告

1. 重点項目について

【評価結果・取組状況】

- ・学生に対する修学支援、生活支援、進路支援に関する支援体制の更なる充実を図った。
- ・学生の学修成果を多様な視点から把握するための、環境整備と改善計画を立案した。
- ・各種コンテストへの参加を積極的に進めており、客観的視点から評価を受ける機会を増やした。
- ・卒業生の専攻分野における社会的評価について、就職担当者にて各企業にヒアリングを行った。

【委員からの意見】

- ・多様性のある学生が増えていくことが予想されるため、引き続き担当部門と協力し、ストレスケアの対応にあたっていただきたい。
- ・外部の方による授業評価について、授業力の向上につながる良い取り組みであると考え。ぜひ今後も継続してほしい。
- ・卒業生の社会的評価について、同じ評価基準で多方面の企業から評価を受ける仕組みをつくってはどうか。

【改善の方策】

- ・初期段階での面談を増やし、多欠席や休学・退学の抑制に努める。留学生に関しては、担当部門と連し、生活・就職支援体制の更なる充実を図っていく。
- ・外部評価者の授業評価の結果をもとに学内で課題の洗い出しを行い、教育の質の向上に繋げていく。
- ・卒業生の社会的評価について、定量的な内容で評価をしていただける仕組みづくりを行い、企業ヒアリングの際に活用する。

2. 基準項目について

基準 1 教育理念、目的、育成人材像

学校関係者評価結果： 適性

【評価結果・取組状況】

- ・学校の教育理念等については明文化し、ホームページにて社会に公表している。
- ・グローバルシティズンベーシック教育（GCB教育）を通じ、麻生塾の卒業生としてふさわしい態度や考え方を育むようにしている。

【委員からの意見】

- ・総括、課題、今後の取り組みなどすべて積極的に取り組んでいることを評価する。
- ・グローバルシティズンベーシック教育について、専門教育と同時に人間教育を行う取り組みを評価する。

【改善の方策】

- ・グローバルシティズンベーシック教育について、今後も教職員の理解を深め、教育力の向上を図っていく。

基準 2 学校運営

学校関係者評価結果： 適性

【評価結果・取組状況】

- ・運営方針はルールブックに記載し、規定通り運営している。
- ・事業計画は校長代行を中心に策定し、計画に沿って適切に運営されている。
- ・事務職員の意欲・資質向上について、計画的に参加している。

【委員からの意見】

- ・教職員、事務職員の資質向上に取り組んでいることを評価する。今後も計画的に取り組んでほしい。
- ・事務職員が学校に配置されている点は評価するが、教職員の負荷に配慮が行き届いているかが気になる。

【改善の方策】

- ・事務職員の将来のキャリア構築を踏まえた研修計画の整備を行い、学校運営の支援体制を図る。
- ・適時業務分掌の見直しを行い、教職員間で業務量の偏りが生じないように留意する。

基準 3 教育活動

学校関係者評価結果： 適性

【評価結果・取組状況】

- ・カリキュラムは教育課程編成委員会で検討し、教務会議にて決定の上、編成している。適切な教育が行われているかの検討会議を行ない、定期的に検証を行っている。
- ・全ての科目で正試験及び正試験に準ずる方法で適切に評価している。また、評価規定については学生便覧等にて学生に周知している。

【委員からの意見】

- ・企業が必要としている人材を育成するために、企業と連携してカリキュラム作成している点を評価する。その結果が高い就職率に繋がっていると捉えている。
- ・新型コロナ対策によるオンライン授業について、出席率とモチベーションの維持、向上を図る取り組みについて検討を求めたい。様々な対応が必要であったと思うが、今後も対策を万全にしてほしい。

【改善の方策】

- ・教育課程編成委員会ならびに非常勤講師会にて、業界で必要とされる人材育成のため、今後もカリキュラムについて検討、検証を重ねていく。
- ・新型コロナ感染拡大防止策として、オンライン授業の拡充など教育の質の維持する体制を整備していく。

基準 4 学修成果

学校関係者評価結果： 適性

【評価結果・取組状況】

- ・教育活動の成果としての成績、検定取得、退学者等の目標値については事業計画の中で全教職員に周知している。
- ・各種コンテストや検定試験においても積極的に取り組んでおり、上位入賞や高い合格実績を残している。
- ・卒業生の社会的評価について、就職担当者による企業担当者へのヒアリングを行っているが、定性的な内容にとどまっている。

【委員からの意見】

- ・退学率について理由を分析し、さらに改善するよう取り組んでいただきたい。
- ・検定取得、コンテスト結果、優良企業への就職など麻生塾の教育活動の成果であると評価する。卒業生の社会的評価について体系的な調査を行ってほしい。

【改善の方策】

- ・退学防止について、学習課題の負荷の分散を図るなど、より具体的な対策を講じていく。
- ・卒業生の社会的評価について定量的に図るための環境を整備し、評価内容を明確にしていく。

基準 5 学生支援

学校関係者評価結果： 適性

【評価結果・取組状況】

- ・学校内に就職専任スタッフを配置している。また、学生相談専門部門と連携し学生のストレスケアへの対応を行っている。
- ・学生の能力向上を目的として、ラボ(研究室)活動を行っており、業界就職率の向上やコンテストへの入賞など実績を残している。

【委員からの意見】

- ・まじめで繊細な学生が多い印象がある。学校として安心して学校生活を送れるようケアを続けてほしい。
- ・ラボ(研究室)の指導体制はどうなっているかを教えてほしい。

【改善の方策】

- ・修学支援や生活支援、進路支援についての方策を学校全体で共有し、学生の満足度向上のための環境整備を推進していく。
- ・各分野に1名指導教員を置いているが、複数の外部企業の方からも定期的に助言をいただける環境を整備する。

基準 6 教育環境

学校関係者評価結果： 適性

【評価結果・取組状況】

- ・図書室については専門分野についての資料を設置し、教職員、学生が利用できる状態になっている。また、資料としてのマンガ単行本の充実も図られている。
- ・企業との連携により企業担当者を招いての業界セミナーや企業説明会を積極的に実施しているが、インターンシップについて、体系的な実施環境が整っていない。

【委員からの意見】

- ・図書室とキャリアサポートセンターが併用されている点を高く評価する。
- ・学生が自ら図書室に出向き、利用する機会が増やすことで、学生力の向上に繋がる良い取り組みであると思う。

【改善の方策】

- ・今後も専門書の拡充を行っていくとともに、自習や就職活動での活用といった具体的な活用方法を明示し、利用の促進を図っていく。
- ・企業との連携を深め、教育を目的としたインターンシップの場の充実を図るとともに、参加記録表を整備する。

基準 7 学生募集

学校関係者評価結果： 適性

【評価結果・取組状況】

- ・アドミッションポリシーは全教職員に周知し、募集要項及び学校ホームページにて社会に公表している。
- ・募集活動においては学科毎の育成人材像、目指す国家資格・就職先、修得できる知識及び技術等を伝えている。

【委員からの意見】

- ・アドミッションポリシーを広く公表していることを評価する。
- ・定員数や選考基準など、業界の求めるものと合致しているかを検証してほしい。

【改善の方策】

- ・教育課程編成委員会にて意見を募り、学生の受け入れ方針や定員数について学科検討会議の中で継続的に検証していく。

基準 8 財務

学校関係者評価結果： 適性

【評価結果・取組状況】

- ・定員充足率、入学者比率は、改善傾向にある。収入と支出のバランス、また、貸借対照表からも、財務基盤は安定しているといえる。
- ・監査についても定期的の実施をしており、財務情報はホームページにて適切に公開している。

【委員からの意見】

- ・委員の方からの意見は特になし。

【改善の方策】

- ・特に問題点はないが、中期計画が適正なものになっているかを検証し、適切に管理・運用していく。

基準 9 法令遵守

学校関係者評価結果： 適性

【評価結果・取組状況】

- ・専修学校設置基準を遵守している。教育環境については教育支援グループ・学事グループと協議し、教室設備の見直し、教員配置の確認を行っている。

【委員からの意見】

- ・今後も法令を遵守して取り組んでほしい。
- ・担当部門と協議の上、必要に応じて校舎、教室の整備・調整を行っていただきたい。

【改善の方策】

- ・教職員に法令に関する研修への参加を促す。
- ・法令、各種基準に変更が生じた場合は、基準に沿って速やかに整備を行う。

基準10 内部質保証

学校関係者評価結果： 適性

【評価結果・取組状況】

- ・担当教職員を中心に自己点検・評価を行っており、問題解決のために共有を図っている。
- ・課題解決については学校関係者評価委員会で説明を行い、改善案をともに考える仕組みを整えている。
- ・結果の公表については、ホームページで外部に向けて公表している。

【委員からの意見】

- ・委員の方からの意見は特になし

【改善の方策】

- ・特に問題点はないが、教職員全体会議、学科会議にて自己点検で出た課題の改善策を協議し、問題解決に取り組んでいく。

基準11 社会貢献・地域貢献

学校関係者評価結果： 適性

【評価結果・取組状況】

- ・ボランティア活動についても、地域で行われるイベントに毎年ボランティアとして参加するなど、学生の活動を奨励している。
- ・市立中学校を訪問しての体験授業や福岡市主催の地域イベントへの参加を通じて、地域貢献活動も行った。

【委員からの意見】

- ・地域に根差した学校として、地域住民への貢献活動を推進していただきたい。

【改善の方策】

- ・教育機関であるからこそできる、教育資源を活かした地域住民の方を対象とした講座の実施を検討する。

基準 1 2 国際交流

学校関係者評価結果： 適性

【取組状況】

- ・事務職員が必要な研修を受け、また関係部署と連携し留学生の受け入れについて適正な手続きが行われる体制を整備している。
- ・留学生については担任を中心として、複数の教職員で関わるようしており相談できる体制を整備している。

【委員からの意見】

- ・海外で活躍できるクリエイターを育成するためにも、留学生募集のための具体的な施策を設けるとよいのではないかと。
- ・留学生の就職先の確保をお願いしたい。

【改善の方策】

- ・海外留学を募集するにあたって、全体周知を行うだけでなく、個人単位で具体的な支援策を講じていく。
- ・外国籍の学生を採用している企業情報を収集し、求人も獲得していく。